

2025 年 9 月

松本歯科大学 卒業生の就業状況に関するアンケートのお願い

本アンケートは、松本歯科大学卒業生の就業状況の確認を行うとともに、松本歯科大学の教育への要望や課題、改善点を聴取し、教育活動等の改善検討に活用することを目的とします。今後の教育活動充実のためご協力をお願いいたします。

〔調査対象〕

2023 年度 松本歯科大学卒業生（2023 年度 臨床研修歯科医採用者）

1. ご回答者について
施 設 名： 松本歯科大学病院
所属・氏名： 研修管理委員会・音琴淳一（聞き取り者）

2. 卒業生について
2-1 歯科医師としての基本的能力（知識・技能）について
(回答)
臨床能力が上がらない 臨床実習中に、臨床能力を上げられるような実習になっていない（症例不足） 臨床実習において、診療科ローテーション以外に、診療経験値を上げられ、歯科衛生士、歯科技工士などの役割を実践できるようにしたい 症例を行う、という全体数でなく、診療の一部を、横断的にその回数を重ねるとい う症例数として、ポイント制にしたらどうか。
2-2 コミュニケーション能力や自己研鑽力、社会人としての常識等について
(回答)
留学生について、日本語のコミュニケーション能力があがらない方が多い 理由として、名簿順で、日本語を学修する必要が無い 初年度に日本語講座があるが、診療におけるコミュニケーションをとれるようなレ ベルに研修歯科医まで7年在籍しても上達していないことがあるので、2年度以降も 日本語レベル向上に寄与するカリキュラムがあるとよい →そうすると、社会人としての、日本（長野県）の慣習にも適応できる 5年生の診療参加型実習（診療）を行うようになった時、また研修歯科医で大学病 院の勤務医になった場合、大学病院の評判が気になる 社会人としてのモラルを教育する場合も必要である 多職種連携を行えるような、演習も取り入れるとよい（他大学でも実施中）
2-3 勤務態度、活躍状況について
(回答)

早期から、活躍できるように、入学時から、希望医局への出入りをできるようにしてはいかがか

6年生で希望者があれば、臨床実習ができるようにする（↑の一貫として）
臨床実習において、5時半以降の技術トレーニングの場所がないので用意する
医業の説明が講義にあると良い

2-4 大学教育への要望や課題、改善点をお聞かせください

（回答）

1－3年生において、病院内体験実習ができるとよい
4年生あたりの臨床系実習を、できるだけ臨床に近い環境で行う
4年生の総合講義でも6年生におけるDaily testを取り入れてはいかがか
5年生の臨床実習は上級医でも指導できる範囲を決めたらよい
臨床実習中に他院の見学プログラムがあると良いのでは（中国での臨床実習など）
6年生のDaily testは次の日の朝、週4日としたら、睡眠学修効果もあるのでは

自主性を向上させるプログラムを、若手歯科医師を中心に検討すべきでは。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

松本歯科大学 学事室
0263-51-2041